



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

会報



THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.obihironishi-rc.jp/>

4

2012, April

第1946回例会

平成24年4月26日



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



新入会 丸崎 茂会員

■会長報告

会長 三野宮 功

皆さんこんばんは。

本日はお二人のご家族のお通夜があるため例会出席者が少ないのですが、代わりにゲストの方が

沢山お見えになって頂いたので、テーブルも埋まりホッとしています。

本日、小沢さんの無罪判決がでましたが、人によっては無罪と有罪の判断がわかれるところだと思います。「憎まれっ子世にはばかる」という言葉がふと浮かびました。デンマーク語で「ぎっくり腰」のことを「魔女の一発」といいます。魔女はあり得ないことを現実にはしますが、今日は魔女が降り立ったようです。



会長 三野宮 功
幹事 奥 敏則
広報委員長 奥田 頼昌



2012年4月

ロータリー雑誌月間

たいまつ宣言

1. 我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
1. 我々は 他に依存することなく 自らを発する
1. 我々は 常に変革をもって 行動する
1. 我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を 実践する
1. 我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

■出席状況報告

月/日	3/1	3/8	3/15	3/22	3/29
例会	1939回	休会	1940回	1941回	1942回
会員総数	59名	-	59名	59名	61名
出席計算に用いた会員数	58名	-	58名	57名	60名
ホームクラブ出席	43名	-	46名	41名	39名
メイクアップ	7名	-	8名	8名	9名
出席率	86.2%	-	93.1%	85.9%	80.0%
月平均	86.3%				

■ニコニコ献金

4月26日 25,000 円

累計 371,000 円

(4月26日現在)



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

点鐘
開会宣言
ゲスト・新会員入場
ロータリーソング(それでこそロータリー)

三野宮功会長
田中圭吾SAA



薬物依存からの回復と ダルクの活動について



ゲスト紹介

田中圭吾SAA
三野宮 功会長

◆NPO法人北海道ダルク とかちダルクケアセンター
施設長 宿輪 龍英様
施設の皆様

会長報告 会務報告

三野宮 功会長
奥 敏則幹事

先日のPETS地区協出席された会員の皆様大変御苦労様でした。

◆5月3日は祝日のため休会

◆5月10日は夜間例会となります。集合場所はかじのビルです。

◆5月12日芽室ロータリークラブ50周年の件ですが、30名近くの会員の皆さまにご登録を頂きました。ありがとうございます。

◆旭川東ロータリークラブが6月16日に40周年の式典があります。



新入会員紹介

推薦者 内海仁司会員

十勝内科循環器内科の丸崎茂さんを紹介いたします。私と同じく平成6年に十勝に来て医療に従事しています。まだまだ仕事熱心ですが、少しはロータリーにも目覚め、月に一度位はゴルフも楽しんでほしいと思います。



丸崎 茂会員

皆様こんばんは。丸崎といひます。生まれは函館で、18年前に帯広に生まれて、帯広協会病院で12年働き、平成18年に音更で開業しました。専門は循環器と腎臓です。何かありましたらご相談ください。趣味はゴルフと麻雀ですが、ゴルフはちょっと腰の調子が悪くしばらく休んでいました。昼は診療があり時間の余裕がないので、夜間例会中心の出席となり、昼間の出席は時々になるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひします。



プログラム 社会奉仕委員会 飯田正行委員長

北海道ダルクの宿輪さんよりダルクの施設活動についてお話を頂きます。会の活動資金が大変だと聞いています。詳しくはダルクのホームページに載っていますので、ぜひご支援をお願いします。



NPO法人北海道ダルク とかちダルクケアセンター 施設長 宿輪 龍英様

ダルクの宿輪といひます。よろしくお願ひします。今日のテーマは薬物依存症からの回復とダルクの活動についてです。今日はお医者さんもいますが、「回復」とは何だろう



と最近思ひます。一般的に回復とは「元に戻る・治る」ということですが、私たちの思ひ回復とは薬を使う前に戻るといふことではなく、「成長」することだと思ひています。依存症の原因は、覚醒剤や大麻、一般の薬局で購入できる薬もあります。私たちはアルコールも薬物と考え、職員も含めて飲まない生活をしていひます。再び少しでも薬を使用したら節制がきかずコントロールができなくなります。薬だけでなく、人に対してや、ギャンブルにのめり込んだりして、「病的」依存になってしまうことが問題です。

今、帯広では7人が生活していひます。道内には薬物依存の施設は札幌の一カ所のみしかなく道内をカバーするのは大変です。二カ所目を帯広にしたのは、札幌からの適度な距離感です。釧路へも日帰りでき、帯広や釧路の刑務所での再犯防止教育や学校での乱用防止講話をしていひます。

大江病院の先生との出会いや行政からの助成金が交付されたこともあり、昨年9月に開設することができました。3人からスタートし、今は7名となりました。ダルクは来るものは拒まず、去る者は追わずのスタンスで、全国60箇所の他の地区のダルクと連携していひます。実は帯広の人は一人もいません。地元では薬物を止めても、薬物絡みの知り合いとの関係が続くため、生活は知らない土地がいいのです。また、ほとんどの人が生活保護を受けて生活していひます。

刑務所での指導は早期の社会復帰を目指しますが、他の犯罪には効果はあっても、薬物依存には効果がないと思ひます。社会では他人に服役のことを話すことは難しいですが、ダルクの中ではお互いに話し合うことができます。

8年近く活動をして、最近は相談がよく来るようになり、ダルクで身元引き受けもします。地域に根ざすために、独立して法人化したいと準備していひます。共同生活の場としてのグループホームと日中活動としての地域活動支援センターを目指していひます。資金的に苦労していひますので、ぜひ支援をお願いします。以上で終わります。ありがとうございました。

謝辞

三野宮 功会長

普段なかなか知り得ないお話ありがとうございました。帯広での設立を祈念します。

ゲスト退場

点鐘

三野宮 功会長